福岡大学
同窓会紙
(編集・広報委員会)

有信

有信会のアドレス
http://www.yushin.jp/

Eメール
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

目指せ！東京五輪

過去の祭典に選手など

母校から延べ21人

2020年の第32回夏季オリンピック大会が東京で開催されることになった。第18回大会以来、五十六年ぶり。スポーツ科学部を持ち、全国の大学でもトップクラスの活躍を誇る母校。過去の祭典・五輪には選手など代表延べ二十一人を輩出しているだけに、有信会（川畑懿子理事長）をはじめ関係者の期待は大きい。母校のアスリートたちには三年後のリオデジャネイロ大会、七年後の東京大会を目指して欲しい。ガンバレ福大！。

（三面に連載「五輪に挑んだ七隈群像」①）

延べ二十一人の中には、重複出場者が五人いるため実質は十一人。この中で母校から五輪に初めて出場したのは、陸上ハンマー投げの岡本登さん（商34）だった。昭和三十五年のローマ大会、三十九年の東京大会に連続出場した。

一人で四大会に出た人も。男子バレーボールの中野（旧姓・池田）尚弘さん（法37）は、選手で二大会、さらにコーチ、監督でも五輪に出た。また、ヨットの松山和興さん（法39）も選手で一回、コーチでも四大会の代表。陸上走り高跳びの佐藤恵さん（体H1）とヨットの佐藤麻衣子さん（体H13）は二大会出場。

昭和五十五年のモスクワ大会、日本はソ連軍のアフガニスタン侵攻に抗議してボイコット。松山さんと陸上走り高跳びの片峰隆さん（体56）同一万㍍の喜多秀喜さん（商50）ヨットの三船和馬さん（経49）の四人は出場を断念、涙を呑んだ。

昨年のロンドン大会のサッカーで快足ぶりを世界にアピールした永井謙佑さん（スポ科H23）は記憶に新しい。

七年後の東京五輪が決まり、母校の衛藤卓也学長は「国内での五輪開催は青少年に明るい希望を与えている。本学もここ十年来スポーツ強化に取り組み、着実に成果を上げている。本学の学生、卒業生から一人でも多くの代表選手が出ることを期待したい」と語っている。

七隈育ちの五輪代表

開催年(西暦)	大会名	代表		種目	成績
昭和35年(1960)	ローマ	岡本　登	OB	ハンマー投げ	13位
同　39年(1964)	東京	岡本　登	OB	ハンマー投げ	
		池田　尚弘	OB	バレーボール	銅
同　43年(1968)	メキシコ	池田　尚弘	OB	バレーボール	銀
同　47年(1972)	ミュンヘン	池田　尚弘	OB	バレーボールコーチ	金
		松山　和興	OB	ヨットフィン級	27位
同　55年(1980)	モスクワ	喜多　秀喜	OB	陸上10000㍍	
		片峰　隆	OB	陸上走り高跳び	
		三船　和馬	OB	ヨット470級	
		松山　和興	OB	ヨットコーチ	
同　59年(1984)	ロサンゼルス	中野　尚弘	OB	バレーボール監督	7位
		松山　和興	OB	ヨットコーチ	
		高木　裕	経4	ヨット470級	11位
		山本　悟	商4	同	
同　63年(1988)	ソウル	佐藤　恵	体4	陸上走り高跳び	11位
平成4年(1994)	バルセロナ	佐藤　恵	OG	陸上走り高跳び	7位
		松山　和興	OB	ヨットコーチ	
同　8年(1996)	アトランタ	松山　和興	OB	ヨットコーチ	
同　12年(2000)	シドニー	佐藤麻衣子	体4	セーリング女子ヨーロッパ級	23位
同　16年(2004)	アテネ	佐藤麻衣子	OG	同	24位
同　24年(2012)	ロンドン	永井　謙佑	OB	サッカー	4位

(参照＝日本オリンピック委HP、福岡大学75年の歩み、同学園通信、有信、七隈讃歌など)

交流協定50校超す

海外の主要大学と締結

母校が在学生の相互留学などを進めるため交流協定を締結した海外の大学がこのほど五十校を超した。締結校は十月末までに大学五十二校と一機関。アジアを中心にアメリカやヨーロッパに広がり、これからも増えそう。国際社会で活躍できる人材育成を目指す環境がいっそう整ってきた。

交流協定の第一号は1984年（昭和五十九年）のウオッシュバン大＝アメリカ。2000年代に入って増え始め、最近三年間では十九校と締結する急増ぶり。国別では中国が最多の十五校、次いで韓国の十二校。アメリカ、イギリス、フランスが各三校ずつ。ほとんどが各国の主要大学。

中でもアメリカのジョージア工科大、ベルギーのルーヴァン・カトリック大、フランスのパリ・ディドロ大、スペインのヴァレンシア大、中国の西安交通大、韓国の釜山大などは世界的にも知られた大学。

母校の国際センターによると、母校から海外の大学に留学している学生は、短期の海外研修や各学部分も合わせて三百十九人。一方、海外から来ている留学生数は今年五月現在で三百二十五人。六年前から同センター長の武居一正・法学部教授は「外国に友人・知人を持つ意義は大きい。グローバル人材育成のためにも交流協定校をもっともっと増やしますよ」と張り切っている。

本号8頁
2面　七戸選手が柔道団体銅
3面　五輪に挑んだ七隈群像
　　梅野選手のドラフト
4-5面　支部総会
6面　学部同窓会が総会
7面　今度は「高松宮記念賞」
　　福岡市副市長に中園氏
8面　ホームカミングデー

母校が役職員改選

事務局長　岡（おか）　忠義（ただよし）

昭和47年福岡大学商学部商学科卒。48年同大学事務職員、平成９年福岡大学病院庶務課長、11年人事課長、16年人事部次長、18年人事部長、22年学校法人評議員、同総務部長。25年８月から事務局長。学校法人常務理事、評議員。64歳。

任期満了に伴う母校の役職員改選が十月二十日までに行われ、新しい学部長などが決まった。発令は十二月一日付、任期は二年。これに先立って八月には事務局長に岡忠義・前総務部長が就任した。主な改選役職員は次のとおり。新＝新任。

◇学部長◇

▽人文学部長　星乃治彦（ほしの　はるひこ＝新）

▽法学部長　砂田太士（すなだ　たいじ）

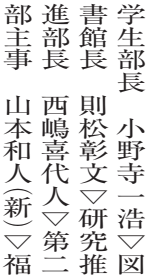
▽経済学部長　西原宏（にしはら　こう）

▽商学部長　中川誠士（なかがわ　せいし＝新）

▽理学部長　山口敏男（やまぐち　としお＝新）

▽工学部長　荒牧重登（あらまき　しげと）

▽医学部長　朔啓二郎（さく　けいじろう＝新）



▽薬学部長　添田秦司（そえだ　しんじ）

▽スポーツ科学部長　田中守（たなか　まもる＝新）

▽教務部長　黒瀬秀樹▽学生部長　小野寺一浩▽図書館長　則松彰文▽研究推進部長　西嶋喜代人▽第二部主事　山本和人（新）▽福岡大学病院長　田村和夫（新）▽筑紫病院長　向野利寛（新）

▽大学院学務委員長　野田龍一（新）▽法科大学院長　仲家暢彦（新）

◇研究科長◇

▽人文学部　林幹男▽法学部　長谷川正国（新）▽経済学部　姜文源（新）▽商学部　川上義明▽理学部　西田昭彦（新）▽工学部　友景肇（新）▽医学部　井上隆司（新）▽薬学部　能田均▽スポーツ科学部　青柳領

＝敬称略

校長に小野澤氏

福大附属若葉高

学校法人福岡大学理事会が十一月二十一日に開かれ、附属若葉高校（福岡市中央区荒戸三丁目）の新校長に小野澤昇教頭の昇任を決めた。前任の石田美孝氏の任期満了に伴うもので、十二月一日付。任期は三年。

小野澤氏は駒澤大学文学部出身。卒業と同時に昭和五十一年から同校の前身・九州女子高教諭。平成十七年から教頭。六十一歳。

銅メダルを喜ぶ男子チーム＝右端が七戸選手（九電柔道部提供）

世界柔道選手権リオ大会

七戸選手　男子団体で銅

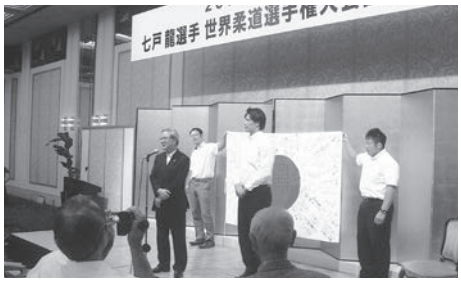
100キロ超級では準々決勝で敗る

柔道の世界選手権リオデジャネイロ大会が八月二十六日―九月一日に行われ、母校出身の七戸龍選手（スポ科H23）＝九州電力＝が男子団体戦と100キロ超級の個人戦に日本代表として出場した。団体戦では三位決定戦で韓国を破り、見事に銅メダルを獲得。個人戦は準々決勝で敗れたものの、三年後のリオ五輪や七年後の東京五輪に向けて貴重なキャリアを手にした。

団体戦で日本はまずニュージーランドと対戦。七戸選手も内股を決めて快勝。しかし、二回戦でウズベキスタンに2対3で敗れた。敗者復活戦では七戸選手の袈裟固めがあり、3対2でモンゴルに勝って韓国との対戦になった。七戸選手の大内刈りも決まり、4対1の圧勝。

個人戦で一、二回戦を勝ち抜いた七戸選手は準々決勝で地元ブラジルのシウバ選手と対戦した。相手は世界ランク一位、ロンドン五輪の銅メダリスト。善戦したものの大外刈りで敗れた。敗者復活戦でも世界ランク六位の選手に倒された。個人戦は七位。

試合が終わったあと、七戸選手は「組み手を追究してオリンピックに繋げたい」とコメントした。



盛大に開かれた七戸選手の壮行会

盛大に壮行会も

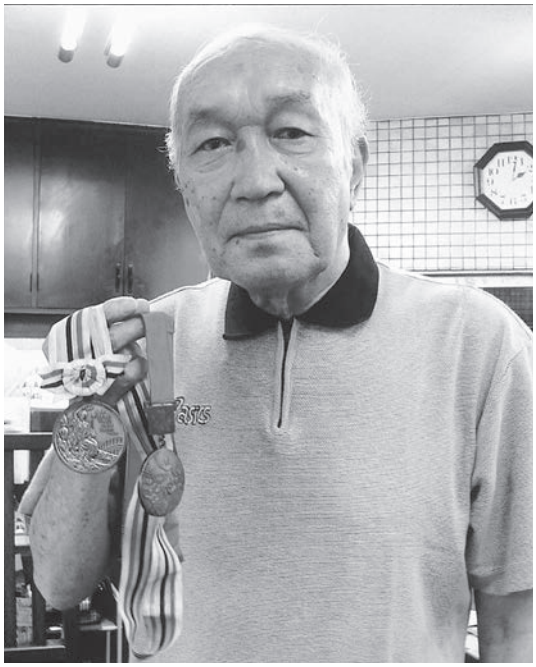
世界選手権への出場を前に七戸龍選手を励ます壮行会が七月二十日、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で開かれた。福岡大学柔道部ＯＢ会斗星会、九州電力柔道部、福岡県柔道協会の三団体共催。関係者約二百人が集まった。有信会から川畑理事長らが出席、金一封を同選手に手渡した。また、斗星会の篠原隆義会長は「母校や有信会の強化クラブ援助が花開いた」と祝った。

五輪に挑んだ七隈群像 ①

男子バレーボール

中野 尚弘さん(法37)

(旧姓・池田)



五輪メダルを手にする中野さん

1964 東京　1972 ミュンヘン
1968 メキシコ　1984 ロサンゼルス

七年後の東京五輪開催が決まって、後輩たちの活躍を誰よりも熱く願っている人々がいる。かつて七隈の地で足腰を鍛え、技を磨いて五輪に挑んだ選手たちだ。そうした七隈群像の数人にご登場戴いて、当時の努力と栄光の足跡や現役へのエールを聞かせてもらおう。初回は男子バレーボールでオリンピック四大会に出場、日本チームに銅銀金メダルをもたらした中野＝旧姓・池田＝尚弘さん(法37)。

4大会へ出場 銅銀金に輝く

中野さんは佐賀県出身。中学三年生のころからバレーボールを始め、県立鹿島高から母校法学部へ。この時、バレーボール部長は平山一雄法学部長。プレーにも生活にも厳しかった。二年生のころには、強制的に下宿先まで移された。

昭和三十七年春の卒業時には北九州市の八幡製鉄から強力な勧誘を受けた。当時の製鉄はスポーツ全盛時代。陸上、水泳などに国内のトップ選手が多士済々。身長一八七㌢の中野さんもエースアタッカーとして全日本チーム入り。一歳下の福大大濠高出身・南将之さん(旭化成)とも出会った。

最初の五輪は昭和三十九年、第十八回オリンピックの東京大会。回転レシーブを完成させた「東洋の魔女」は金メダル、男子も銅を獲得した。次のメキシコ大会では中野さんが日本の主将。共産圏が強く、日本は銀メダルと頑張った。

そしてミュンヘン大会。中野さんはコーチ。練習の中からヒントを得て「Aクイック」「Bクイック」「一人時間差」などの新戦術を完成させ、待望の金メダルに届いた。

そして、世界のバレーボールはプロ化、大型化。中野さんが日本チームの監督を務めた第二十三回のロサンゼルス大会では入賞したものの七位。

妻光子さんの姓を名乗って「池田」から「中野」に変わったのはミュンヘン大会後。現在は長崎市築町で明治二十年創業の老舗、蒲鉾会社の代表取締役。後輩たちには「個人種目には出場のチャンスが大きい。特に強い精神力で目標に向かって欲しい」。七十三歳。

記者会見する梅野選手(中央)

梅野選手は阪神指名

プロ野球ドラフト

プロ野球のドラフト会議が十月二十四日、東京都内のホテルで行われ、母校の野球部主将や今夏の日米大学野球でも日本チームの主将を務めた梅野隆太郎捕手(スポ科四年)が阪神タイガースから四巡目指名を受けた。

梅野選手はこの日、母校のヘリオスプラザ一階ホールで平兮元章部長、樋口修二監督とともに大型テレビ画面に映し出されるドラフト会議の模様に見入った。報道関係者や大学職員、学生たち約三百人も固唾を呑んだ。約二時間待って、指名の名前が呼ばれると会場に歓声と拍手が渦巻いた。

額の汗をぬぐって記者会見。同選手は「お待たせしました。ドキドキしていました。入団したら、打てる捕手としてアピールしたい」と決意表明。応援指導部の激励や後輩からの花束贈呈を受けて、やっと表情がほころんだ。

福岡県那珂川町出身。福工大城東高から進学。強肩強打で、一年生春から正捕手。九州六大学リーグでは六季連続でベストナイン。最優秀選手賞二回。日米大学野球でも優勝。大学での公式戦は八十七試合で通算打率3割4分3厘。右投げ右打ち、173㌢、80㌔。

116人巣立ち

前期卒業式

母校の二十五年度前期卒業式は九月二十八日に行われ、前年度よりやや多い百十六人が巣立った。卒業証書の学位記を手にしていずれも晴れやかだった。

式では衛藤学長が卒業生総代の中田あず紗さんに学位記を授与。「強い精神で困難に立ち向かって欲しい」と式辞。有信会の川畑理事長も「有信会員として絆を深めて!」と祝辞を述べた。卒業生たちは式場を出たロビーで各学部ごとに証書を受け取った。

なのみ学園へ寄金

チャリティゴルフ大会

有信会の第七十九回有信チャリティゴルフ大会は十月三日、福岡県小郡市三沢の小郡カンツリー倶楽部で行われた。

大会には一般も含めて二十八歳の若年者から八十三歳の高齢者まで二百五十五人(六十七組)が参加した。その結果、優勝はバレーボール部OBの安永修さん(経59)。また、参加者たちが募金などで集めた浄財二十五万円は障がい者生活就労支援施設の福岡市立「なのみ学園」(福岡市南区清水町)へ寄付した。

祝 40周年 30周年 30周年 10周年

キャンパス内でバスから降り、その変貌ぶりに目を見張る伊万里市役所七隈会のメンバーたち

伊万里市役所の七隈会

貸切バスで母校見学
24人キャンパスに驚く

「知らない大学に行ったみたい」「迷子になりそう」—佐賀県伊万里市役所に務める母校卒業生で作る七隈会が十月四日、貸切バス一台をチャーターして懐かしい母校を訪問した。数十年ぶりキャンパスに入ったメンバーなどもいて、あまりの変貌ぶりにびっくりしていた。

一行は井手清一さん（経H８）を代表とする二十四人。市民部長の井関勝志さん（法52）らを年長者として卒業から二年の若い会員まで多彩。女性も四人。七隈会のメンバーは総数四十五人だが、金曜日とあって参加者は年休を取れる人だけになったという。

午前九時に伊万里市を出発。福岡タワーを見て、母校には十一時半すぎに到着。バスから降りた会員たちは十六階建ての文系センターや最新鋭設備を誇るモダンな図書館などにキョロキョロ。しかも、学生たちの多さにも驚いた。

昔の正門（現東門）を見に行く人、学生のころ利用したバス停に歩く人、クラブ活動の部室や大学近くの下宿を確かめに向かう人など、それぞれが自由散策を楽しんだ。母校訪問は秋の行楽も兼ねており、途中参加者も含めた一行は二泊三日の湯布院・別府旅行へ。

太宰府支部

ミニコンサートも

太宰府支部の総会は六月三十日、太宰府市の太宰府館であった。母校から中原スポーツ科学部長、有信会から川畑理事長、筑紫野支部役員などの来賓を含めて三十五人が出席。支部役員の改選などがあり、母校のライトミュージック愛好会によるミニコンサート。懐かしいビートルズの演奏曲などが披露された。懇親会で全員が近況報告、例年になく盛り上がった。

沖縄支部

父母懇談会に併せ

沖縄支部の第十三回総会は母校が沖縄で行う父母懇談会に併せて七月六日、ホテルロイヤルオリオンで開かれた。大学から今泉副学長ら十一人、有信会から水原理事が出席。会員も三十人が参加した。笹尾支部長があいさつの中で「沖縄出身の在学生が百三十二人、今春の新卒者は二十五人」などと報告した。議案承認のあと、今泉副学長が「福岡大学は今！」と題してミニ講話。懇親会ではジャンケン大会などで最高潮に。

佐世保支部

平成卒が約20人に

九回目を迎えた佐世保支部の総会も七月六日、佐世保市のファーストイン佐世保で行われた。来賓は大学から本田総合情報処理センター長、有信会から井上理事、長崎支部役員など。会員も五十二人が参加。特に平成卒の若いメンバーが約二十人にのぼり、活気に溢れた。総会に続いて講演会。学生時代からラグビーで活躍してきたサントリービア＆スピリッツ長崎支店長の山本俊嗣氏（体62）が日本代表入りまでの苦労話を語った。懇親会も恒例の抽選会で賑わった。

小郡三井支部

「日本の明日は！」

小郡三井支部総会は七月七日、一品香小郡店で開かれた。有信会の佐藤副理事長、近隣の久留米、大牟田、浮羽、八女筑後各支部の役員らと会員の合わせて三十人が出席。総会のあと特別講演会。太宰府天満宮の田中教介宮司が「日本の明日は！」と題して話した。

大分銀行支部

泥谷支部長を再任

大分銀行支部の第十四期総会は八月三十一日、大分オアシスタワーホテルで行われた。母校から横張理学部長、有信会から植村理事が出席、会員も合わせて六十二人が参加した。役員改選では泥谷利城支部長（経56）が再任された。懇親会は豪華景品の抽選会で賑わった。

豊和銀行支部

1人ずつ近況報告

豊和銀行支部の総会は九月七日、元行員で会員の経営するホテルクドウ大分で開かれた。有信会の水原理事や大分支部から来賓を迎え、会員も新入行員を含めて十八人が参加。近況報告会では一人ずつが熱く語った。最後は校歌を熱唱。

福岡市役所支部

池内氏が新支部長

福岡市役所支部の本年度総会が九月二十五日、福岡市中央区の福岡国際ホールで開催された。大学から馬本副学長、有信会から川畑理事長、福岡市の中園副市長、多数の市議会議員を迎えた。若い会員も例年より多く、総数で八十人を超す参加者があった。役員改選が行われ、新支部長に池内勝氏（理55）を選出した。懇親会では来賓と会員、会員同士などさまざまな交流の輪が広がった。

伊都支部

事務局の住所変更

伊都支部は第十四回総会を七月十二日、福岡市西区の山水荘で催した。有信会から川畑理事長を迎え、会員も女性五人や新規三人を含めて二十七人が参加。四議案も異議なく承認され

減少気味だったが、今回は来賓を含めて九十人。支部役員の協力やチケット郵送などで女性や若手も増え、参加者が大幅にアップ。盛会だった。

支部

の大丸別荘であった。筑紫病院の古賀事務長、有信会の伊藤理事、太宰府や京築支部役員を含めて三十五人が参加した。総会に先立って公開

大分支部

学長が見事な独奏

大分支部が創立四十周年を迎え、記念総会を十月二十六日、大分市のトキハ会館で行った。衛藤学長をはじめ有信会の川畑理事長、さらに県内の地域支部や職域支部の代表など来賓十五人を合わせて約百七十人が出席した。総会に先立ってまず県内各支部長会が開かれ、それぞれの近況などが報告された。総会では役員改選もあり、森俊久支部長ら四十人の役員を決めた。理事一人を除いて全員が留任。懇親会では、学長や理事長がお祝いの言葉を述べた。歌謡ショーや福引きなどで賑わった。特に学長が校歌をフルートで独奏、見事な音色に盛大な拍手が贈られた。最後は応援団OBがリーダーになって全員で校歌を歌い上げた。

岩国支部

特撰フレンチ料理

岩国支部も第三十回総会を七月五日、名勝錦帯橋そばの岩国観光ホテルで開いた。有信会の伊藤理事を含めて十三人が参加。広中晶光副支部長が「記念すべき総会だが、常連のメンバーが集まれなかった。年末の忘年会を盛り上げよう」。活動報告や会計報告もあった。支部代表幹事で岩国市議六選の桑原敏幸さんが岩国と沖縄の米軍基地問題を解説した。懇親会ではシェフ特撰のフレンチ料理とシャンパンを楽しんだ。

広島支部

新支部長に佐藤氏

第三十回の広島支部記念総会は七月六日、広島市のリーガロイヤルホテル広島であった。有信会から川畑理事長を迎え、新卒二人を含めて約四十人が参加。役員改選があり、大前支部長が退任、佐藤一直氏(体H10)が新支部長に選出され、役員たちも世代交代で若返った。祝宴は中国電力副社長の熊谷鋭氏(工50)の音頭で乾杯。パネルディスカッションなどもあり、母校応援指導部の藤田大輝団長らが演武を披露した。

大野城支部

女性も7人が出席

大野城支部は第十回総会を十月五日、福岡市博多区の一品香で催した。母校の砂田法学部長、有信会の佐藤副理事長らの来賓も含めて三十六人が出席した。このうち七人が女性で、会場が華やいだ。総会を前に、支部創立から事務局長だった故田崎八朗氏に黙とう。議事は第五号議案まで全て承認。引き続き(株)メモリード代表取締役の吉田茂視氏から講話してもらった。昨年より出席者も増えて、懇親会も盛況だった。

久留米支部

参加者大幅アップ

第三十四回久留米支部総会は七月十二日、久留米市のサンハピネスで開催した。大学から中原スポーツ科学部長、有信会から正岡理事、それに大牟田、八女筑後、小郡三井、浮羽各支部役員を迎えた。近年は会員参加が

た。懇親会では現役学生六人によるスペインギターの演奏があり、会場を盛り上げた。なお、支部事務局が西区周船寺三丁目二八の一・正光印刷(株)内に変更になった。

諫早支部

支部長ら役員再任

諫早支部の第三十六回総会は七月十二日、諫早観光ホテルで開いた。有信会から大神事務局長、長崎、佐世保各支部役員と会員三十五人が参加。まず西諫早病院の千葉憲哉理事長を招いて「癌の時代にうまく生きる方法」と題した講演があり、総会へ。役員改選では横尾真一支部長(商43)ら原口役員が再任され、新理事五人も承認。懇親会で会員の交流が進んだ。

筑紫野支部

公開講座に約百人

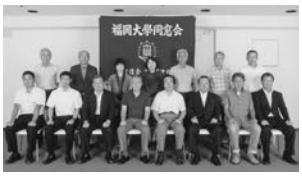
筑紫野支部の第十三回総会は七月十三日、筑紫野市講座を開催。元財務大臣の尾身幸次氏が「中村天風の生き方を学ぶ」をテーマに講演、一般参加も多く約百人が聞き入った。

長崎支部

学生就職率アップ

長崎支部の二十五年度総会は七月二十日、長崎ロイヤルチェスターホテルに八十五人が集って行われた。このうち大学の荒牧工学部長や有信会の植村理事らが来賓。「今春の学生就職率は前年より一・八%アップの九二・三%」などとの報告を聞き、議案を承認。懇親会も盛会だった。

徳島県支部



県内の卒生2百人

徳島県支部総会は七月二十七日、十五人が参加して徳島市のホテルグランドパレス徳島で開かれた。このうち三人が初参加。県内の福大卒が約二百余人と聞いてびっくりしていた。会員名簿に知人の名前を見て「次回は誘おう」との声も聞かれ、参加者の期待も高まった。

奈良支部

奈良支部の例会が八月二十四日に橿原市の和楽心橿原神宮店であった。大阪支部の原支部長を合わせて九人が出席。総会開催を来春三月八日(土)に決めた。

支部総会の開催記録(7月−11月)

支部名	開催日	参加数	本部出席者
岩国支部(40周年)	7／5	13	伊藤理事
広島支部(30周年)	6	40	川畑理事長
佐世保支部	6	56	井上理事
沖縄支部	6	42	水原理事
小郡三井支部	7	30	佐藤副理事長
伊都支部	12	28	川畑理事長
久留米支部	12	90	正岡理事
諫早支部	12	38	大神事務局長
筑紫野支部	13	35	伊藤理事
経済学部同窓会総会	13	70	川畑理事長他
長崎支部	20	85	植村理事
別府支部	21	25	水原理事
唐津支部	27	29	川畑理事長
徳島県支部	27	15	—
大分銀行支部	8／31	62	植村理事
豊和銀行支部	9／7	21	水原理事
神戸支部	21	20	川畑理事長
燦燦会(商大30卒)	21	12	飯田理事
福岡市役所支部	25	81	川畑理事長
大野城支部(10周年)	10／5	36	佐藤副理事長
人吉球磨支部	5	25	井上理事
島根東部支部	12	18	水原理事
直鞍支部	26	127	川畑理事長
大分支部(40周年)	26	169	川畑理事長他
宮崎県支部	26	119	水原理事
鹿児島支部	26	168	佐藤副理事長
東海支部	11／2	19	水原理事
京築支部	9	63	大神事務局長
下関支部	15	69	植村理事
大阪支部関西総会	16	42	正岡理事
商2部同窓会総会(創立60周年記念)	23	61	川畑理事長他

別府支部

講話と会員の卓話

別府支部は第二十二回総会を七月二十一日、別府市のホテル望海で開いた。有信会から水原理事を含めて二十五人が参加。ゲスト講話に地元の日清観光代表取締役・中尾雄一氏を招き「国際交流の現状と別府観光」を聞いた。また、会員の菊池幸助氏（薬H10）による卓話「株価形成の段階と今後の展望」もあった。

唐津支部

親睦旅行、八日会を

唐津支部は再発足後十回目の総会を七月二十七日、唐津市の旅館長崎荘で行った。有信会から川畑理事長が出席、会員も二十八人が集まった。親睦旅行や八日会を予定する事業計画などを承認。次回から参加者が新会員一人を誘ってくるプランが提案された。

神戸支部

呼びかけにも工夫

神戸支部の総会は九月二十一日、有信会の川畑理事長を迎えて神戸市の中華料理店神仙閣で開いた。会員は十九人参加。活動・会計報告などを承認した。

施している道路清掃を今後も継続することを確認。特産球磨焼酎で盃を交わした。

人吉球磨支部

道路清掃なお継続

人吉球磨支部は第二十八回総会を十月五日、人吉市のアンジェリーク平安で行った。有信会から井上理事が出席、会員も二十四人が参加した。現在十二回実

島根東部支部

会員同士が誘合い

第三十五回目を迎えた島根東部支部総会は十月十二日、松江市の五八であった。有信会から水原理事が出席、会員同士が誘い合って十八人の参加があった。総会に先立ってゴルフコンペがあり、懇親会では会員所属のクラブによるマジックショーも展開された。

直鞍支部

副支部長5人体制

直鞍支部の第四十五回総会は十月二十五日、直方市の直方いこいの村で開催された。母校から添田薬学部長、有信会から川畑理事長、近隣の宗像、田川、飯塚、北九州、京築各支部役員など来賓十七人、会員百十人が参加。規約変更に伴って副支部長を二人増の五人体制にした。懇親会ではジャズボーカリスト「ＶｉＶｉ」のステージがあり、黒龍舞術団の中国芸能が披露された。校歌斉唱、バンザイ三唱で閉会した。

宮崎県支部

約１２０人が参加

宮崎県支部の第三十二回総会は十月二十六日、宮崎市のホテル・スカイタワーで行われた。大学から畠田副学長、有信会から水原理事、それに河野宮崎県知事ら来賓四人を含めて百十九人が参加した。総会のあとの懇親会では日本舞踊、ハワイアンバンド演奏、豪華景品を揃えた福引きなど多彩なアトラクションを堪能した。最後は円陣を組んで校歌斉唱。

鹿児島支部

過去の出席者名簿

鹿児島支部の二十五年度総会は十月二十六日、鹿児島サンロイヤルホテルであった。桜島の降灰にも負けず百六十五人の会員が参加、来賓も大学の小野寺学生部長や有信会の佐藤副理事長ら三人が出席。今年は、過去の支部総会に出席した会員名簿を作成、会員に配布した。福田支部長が更なる結束を訴え、懇親会へ。最後は水溜政典（商51）下野哲郎（商58）中村和寛（体H7）の三氏がトンビになって福大節、七隈トンビなどを全員合唱した。

京築支部

前支部長らに記念品

京築支部の第八回総会が十一月九日、行橋市の京都ホテルで行われた。十二月から商学部長になる中川誠士教授、有信会から大神事務局長、さらに宗像、直鞍、飯塚も、北九州、田川、大分、別府、日田の各支部役員ら来賓二十五人を加えて総勢六十三人が参加。議案を承認、昨年まで支部長だった木村博顧問と春の叙勲受章者に記念品を贈った。

経済学部

野見山氏を会長に選出

経済学部同窓会の総会は今年が九回目。福岡市中央区の福岡国際ホールで行われ、母校から今泉副学長、西原経済学部長ら、有信会からも川畑理事長、佐藤副理事長らを来賓に迎え、会員を合わせて計七十五人が参加した。

監査報告や決算報告が承認された総会では役員改選があり、新会長に野見山優氏（44卒）を選出、役員十人も交代した。このあと講演会。西原学部長が、同学部内にある経済学科と産業経済学科の違いについてトーク。参加者も熱心に耳を傾けた。

懇親会では、応援指導部の学生たちが力のこもった演武を披露、大きな拍手を浴びた。あいさつに立った野見山会長は「来年の総会は第十回目。しかも、経済学部創立五十五周年の節目を迎える。盛大に開催したい」と、多数の参加を呼びかけた。最後は高田義幸顧問（35卒）の一本締めで閉会した。

学部同窓会総会

商二部の同窓会総会。○写真は関社長

経済学部同窓会総会が七月十三日、商学部第二部同窓会総会は十一月二十三日それぞれ盛大に開かれた。

商二部

関家具社長が特別講演

商学部第二部同窓会（甲斐文治会長）の第七回総会も福岡国際ホールで開催された。第二部は昭和二十八年に創立され、今年で六十周年。卒業生数は一万三千人を超す。このため、大学や有信会から十一人の来賓を迎え、現役の学友会役員なども加え、参加者は六十余人にのぼった。

まず、甲斐会長が「創立六十周年を祝いたい」とあいさつ。衛藤学長、石上商学部長、川畑有信会理事長がそれぞれ「卒業生は九州各地で地域に密着している」「第二部があるのは九州で三大学だけ」「卒業生数二十四万人。何事もナンバー1になろう」などと祝辞を述べた。

総会に続いて、大川市の（株）関家具社長・関文彦氏（43卒）が特別講演。資本金なしの行商からスタートして今日を築くまでを振り返った。懇親会でも国会議員の父親、県議、市議などの卒業生が次々とトーク。和気あいあい交流した。

小石原焼の福島善三さん（経57）

―― 日本伝統工芸展 ――

今度は高松宮記念賞

10年前 総裁賞 史上2人目のW受賞

第六十回日本伝統工芸展で、母校出身の福岡県朝倉郡東峰村・小石原焼陶芸家の福島善三さん（経57）が、今度は高松宮記念賞を受賞した。母校出身の福島さんは十年前にも日本工芸会総裁賞を受けており、二つの大賞をダブル受賞したのは史上二人目の快挙。同展は全国十二会場を巡回しており、九州では来年二月十一日から福岡市の福岡三越で展示される。

同展は陶芸、染色、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の七部門。今年は計千八百五十点が応募。いずれも、わが国を代表する伝統工芸品ばかり。福島さんは「中野月白瓷深鉢」と名付けた陶器を出品した。径三十七・五㌢、高十六・七㌢で、青みがかった白さ。装飾性を削ぎ落としたシャープなデザインが特徴。

今回の作品で最も苦心したのは粘土作り。粒子が極微少で、風に乗ってくる砂埃が入っただけで作品は作れなくなる。二十㌔の陶土から普通なら十二、三㌔採れる粘土が、八㌔前後しか採れない。しかも十二月―三月の寒い時期は陶土が凍って採取不能。

この粘土で四、五年前から年間に数点だけの作品を作ってきた。粒子が細かいだけに焼くと、よく縮む。収縮率は二五％。だから表面にヒビが入らず、固まって割れにくい。いわば陶器の青磁とも言える作品は、日本でも初めて。

福島家は窯名が「ちがいわ窯」。陶印から創業は１６８２年（天和二年）。三百三十年超も続く名窯。小石原・皿山の中野（地名）から採れる陶土を使う。福島さんは平成十一年に日本陶芸展で大賞桂宮賜杯を受賞、十二年から連続四年間は宮内庁お買い上げ。十七年以降は同展に招待出品している。五十四歳。

出品作品とほぼ同型の鉢を手にする福島さん

〈受賞作品〉

福岡市の副市長に中園さん（商二52）

中園副市長

九州最大の政令都市・福岡市の副市長に母校出身者が就任した。水産部長を定年退職した中園政直さん（商二52）で、高島宗一郎市長から「ぜひ！」と懇請されて応じた。母校卒の政令都市副市長は初めてのことで、期待は大きい。

中園副市長は福岡高を卒業して同市役所職員になり、昭和四十八年に母校入学。昼間は働きながら、夜は平和台校舎、さらに高宮校舎に通う学生生活だった。特に「高宮校舎の時は自宅までの交通機関の便が悪くて苦労しました」。

平成十七年に水産部水産振興課長になってからはトントン拍子。二十二年には住宅都市局住宅部長などを歴任。局長を経験しないまま今年四月一日付で副市長に就任した。局長を飛び越しての就任は初めてのこと。同市の副市長は現在三人。

約千人と見られる母校卒の市職員からも「市政に精通しており、誠実な人柄」と慕われる中園副市長。「若い市長を助け、市民のため全力を尽くしたい」と言う。

福大大濠高がＶ７

玉竜旗高校剣道 大将が大逆転劇

7回目の優勝を喜ぶ祝賀会

高校剣士の夢舞台・平成二十五年度玉竜旗高校剣道大会男子の決勝戦は七月二十九日に福岡市のマリンメッセ福岡で行われ、福岡大附属大濠高が東京・高輪高を破って二年ぶり七回目の優勝を果たした。全国から参加した五百七十四校の頂点に立った。優勝祝賀会は九月二日に西鉄グランドホテルで盛大に行われた。

前年度準優勝だった大濠高は諫早農、臼杵、松江東、浜名と撃破。しかし六回戦以降の錦江湾、ＰＬ学園、桐蔭学園、龍谷はいずれも大将戦での辛勝。決勝戦も相手次鋒に三人が抜かれて絶体絶命のピンチ。大将の梅ケ谷選手（三年）が次々に撃破して、相手大将との決戦に持ち込んだ。五回の延長戦の末、梅ケ谷選手のメンが決まった。まさに死闘での大逆転劇だった。

祝賀会には福岡市の高島市長、大学から鎌田理事長や今泉副学長、有信会からも川畑理事長らが出席。相良浩文校長が「四年連続の決勝進出を果たし、奇跡の逆転ドラマを見せてくれた。精進の賜物」と喜び、柔道部の黒木貞光監督も「大将には、伝説を作ってこいと送り出した。それが実現した」と報告した。

「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、公務員、経営者、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、一年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。履修生は金融、流通、経営、会計、国際ビジネスに関わる科目を受講することができます。コース修了者には、学校教育法（第一〇五条）に基づく履修証明書（社会人コース修了証）を授与します。一年間で修了できない場合には、一年間の延長も可能です（追加受講料は不要）。平成二十六年度履修生募集については、商学部事務室にお問い合わせ下さい。

◆有信会の主なスケジュール◆

月	日	予定行事
1	9	平成26年新年賀詞交換会
2	上	第3回理事会
		大分市役所支部総会
		添田支部総会
	中	長崎市役所支部総会
	21	飯塚支部総会
3	上	奈良支部総会
	中	田川支部総会
	19	福岡大学第61回卒業式

［注］上中下は上旬、中旬、下旬

交流が深まったレディーズクラブのつどい。左上の○写真は内藤副学長

レディーズクラブのつどい

中高年―歩こう！

講演　内藤副学長が勧め

有信会の女性たちが交流を深める「二十五年度レディーズクラブのつどい」が十一月十六日、福岡市中央区の福岡国際ホールで開かれた。七十人超の会員がが集まり、講演会やアトラクションを楽しみ、親睦をいっそう深めた。

同つどいには母校から内藤正俊副学長ら、有信会からも井口政壽顧問ら、さらに九州大女子卒業生の会・松の実会、西南学院大女子同窓会・西南ゆりの会の各代表なども出席。同クラブ会長の川畑有信会理事長が「レディーズクラブも今後、大学の発展を見守っていきたい」とあいさつした。

講演会は内藤副学長が「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とその予防～元気で末永く歩くために～」と題して、中高年に歩くことの大切さを説き、特に「長時間の座位は万病のもと」としてスクワットの励行を勧めた。

懇親会のアトラクションでは卒業生の井手公さん（法48）らのピアノとバイオリン演奏があった。

リンクラブの演奏や混声合唱団による校歌斉唱など。このあと学生たちが開いた約百三十の模擬店を回る参加者もあった。

今年も1万2千人オープンキャンパス

高校生をはじめ保護者や教師などに福岡大学を知ってもらうための「オープンキャンパス2013」が八月三日、全学で行われた。九州だけでなく各地から約一万二千三百人が来場、学部説明会や模擬講義、さらに熱心に施設見学などをして回った。

お悔やみ申し上げます

浅尾　学氏（あさお・まなぶ＝元福岡大学医学部教授、元筑紫病院長）十月十日に死去、九十一歳。飯塚市出身、自宅は非公表。

園田　修平氏（そのだ・しゅうへい＝有信会島原支部長）十月三十日に死去、六十二歳。平成十七年から支部長。自宅は島原市。

ホームカミングデー

久保医学部長講演「死者を診る」

卒業生たちが母校に集う第十二回ホームカミングデー（福岡大・有信会共催）が文化の日の十一月三日、ヘリオスホールで行われた。OBなど約二百人が参加。久保真一医学部長の「死者を診る」と題した講演やアトラクションがあり、三日間にわたる学生たちのイベント「七隈祭」の中日も楽しんだ。

久保医学部長

衛藤学長㊨へ目録を読む川畑理事長㊧

当日は朝から雨。それでも有信会大分支部（森俊久支部長）が昨年に続いてバス一台を仕立て、会員十六人が参加。このほか、多数の支部長らの姿が見られた。開会は大学交響楽団による式典序曲でスタート。

衛藤学長が「ようこそ母校へ。これからもご支援を」とあいさつ。有信会の川畑理事長も「一般社団法人になっても母校愛で見守ります」とエール。同理事長から学長へ、有信会の一般社団法人移行に伴う公益目的財産額を特定寄附金として母校に寄附する目録が手渡された。

講演は、テレビドラマなどで馴染みが深まっている法医学の世界について、久保医学部長が分かり易く解き明かした。全国的に犯罪の多様化、複雑化に伴って死体の司法解剖が急増している現状が紹介された。

アトラクションはマンドリンクラブの演奏や混声合唱団による校歌斉唱など。このあと学生たちが開いた約百三十の模擬店を回る参加者もあった。

「お笑いを一席」

落研OB落語会

笑門来福―第二十六回福岡大OB落語会（落研OB会主催）が十一月九日、母校の福大病院メディカルホールで開かれた。卒業生をはじめ近隣の町内会や老人会などから約二百五十人が詰めかけた。約二時間半にわたってOB六人が高座に上ってお笑いの一席。会場を爆笑の渦に巻き込んだ。

落研は創立して四十五年。これまでも各地の公民館や老人会などで「笑いのおもてなし」を提供してきたが、七隈でOB落語会を開催するのは初めて。メンバーは全員が「福々亭」の屋号を持つ。この日は昭和四十七年から五十三年にかけて卒業した初代の金坊、忠太郎、夢蔵、三代目の金坊、快楽、笑六法が得意の演題を披露した。

落研OBが高座で語るOB落語会

発行所
福岡市城南区七隈 8-19-1
一般社団法人
福岡大学同窓会有信会
郵便番号　814-0180
電話（092）871-6631
FAX（092）863-3668
印刷所
福岡市西区周船寺 3-28-1
正光印刷（株）